

入間川地区中学校統廃合検討協議会 学区部会第1回会議録

- ・開催日時 平成24年5月28日(月) 午後7時～午後8時20分
- ・開催場所 狭山市役所6階 603・604会議室
- ・出席者 18名 ※欠席者2名
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 担当主任
学校教育参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 4名

【会議内容】

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 部会長及び副部会長の選出

部会長に船田朋美委員、副部会長に齊藤修司委員が選出される。

5 議 事

(1) これまでの経緯について

(事務局) ——— 配付資料説明(略) ———

(2) 統廃合に伴う学区の見直しについて

(事務局) ——— 配付資料説明(略) ———

(委員) 中央中ができる時、峰自治会の農家が土地を9割方提供した経緯があります。入間川中に通うことになれば、通学距離が3.5kmくらいになってしまいますし、とても地元の方々から了解を得ることはできないと思います。ですから、③案、④案には反対です。

(委員) 学区を決めるにあたっては、この部会の中だけではなく、保護者の方々の意見も聞いた方がベターかと思います。

(事務局) 必要に応じて保護者説明会やアンケートなどの実施は考えていますが、まずは部会で、ある程度の方向性を出していただければと思っています。

(委員) 東中を廃校にすることに反対の人もいますので、より良い広報の仕方を考えていただければと思います。

(委員) 東中では説明会を先日開いてもらいましたが、保護者の方々にとっては初めて聞くような話もあり、戸惑っていた人も多く、怒っている方もいました。
アンケートを取ることは、お約束していただけますか。

(事務局) はい。アンケートの必要性についての意見もありましたので、こちらとしては実施する方向で考えています。

(議長) 学区の見直し案の決め方についても、アンケートの実施なども含め、委員の皆様の中かで決めていただければと思っています。

(委員) 奥富地区は、東中から中央中に移され、今度は柏原中に移されるようなことになれば、タライ回しのような感じですよ。いるまがわ大橋も歩道が狭いですし、自転車通学をするにしても歩道の整備が必要になってくると思います。保護者から意見を聴いても、柏原中に行くのは反対という人は多いです。

(委員) 西武文理の前の道ができたことで、細い奥富地区の道路を脇道として利用する車がいっぱい走るようになりました。事故も多いですし、あの中を自転車で中学生を通すのは危険です。

(議長) いろいろと意見が出ましたが、まだ発言されていない方からも一人ずつ意見をお伺いできればと思うのですが…。

(委員) 東中は、耐震工事もされていないですし、エアコンもないので、夏

は酷暑のなかで過ごしている状況です。東中の保護者説明会では、子どもの命と安全が何よりも大事ではないのか、受験を控えた多感な時期なので、精神面に十分配慮してほしいなどといった意見が出ましたが、この四つの案の中でどれかと言われても申し上げることはできません。百歩譲って敢えて言うなら、やはり皆さんで痛み分けをしてもらわなければ、東中の子がかわいそうだと思います。

(委員) 統廃合は全ての方々に良い答えが出るということは難しいと思いますし、当事者である東中学校さんにとっては、なかなか難しい問題だと思います。最終的には極力デメリットを少なくした形で決まればいいと思っています。

(委員) 入間川東小の一部の区域が入間川中か中央中を選べるようになったとき、入間川中の人数が少なくなるかなとは思っていましたので、仲の良い友達と別れるのは辛いとは思いますが、入間川東小の一部の子は入間川中に通ってもらおうということも、ここで考えてもいいのかなとは思っています。

(委員) 私たちのPTAとしましては、PTAだよりを通じて至急アンケートを実施し、保護者の意向を確認したいと考えています。

個人的には、中央中は今後も奥富小と入間川東小の2校でいってほしいと思っています。特に入間川東小は、長年の希望が叶って漸く同じ中学校に通えるようになった矢先、またここで二つに分かれるということになれば、関係者から理解を得るのは相当難しくなるのではないのでしょうか。

(委員) 民主主義の世界なので最後には多数決の世界になってくると思いますが、今日のところは私自身まだ勉強不足ですので、発言は控えさせていただきます。

(委員) こういうことで学校のハード面を充実させていくことは重要なことだと思うと同時に、そこに通う児童生徒のソフトの面にも十分に配慮していただければと思っています。

(委員) 先ほどアンケートの話が出ましたが、中学校だけでなく小学校でもやっていたらと思っています。

(委員) 奥富地区の通学路に関しては問題提起せざるをえない部分が多々あると思います。二本の橋ができたことで、迂回路となった道の交通量はかなり増えています。狭山大橋の場合は、自転車で通る場合は原則お金を取りますので、その辺はどうするのかという問題もあります。それを避けるために、いるまがわ大橋を通るとなると、奥富地区を一周する形で中学に通うことになってしまいます。

今後といたしましては、学校、保護者の間で意見をまとめたうえで次のテーブルに着ければと考えています。

(委員) 資料は見ているのですが、まだ十分理解できていないというのが正直なところですので、2回目、3回目になれば、もう少し理解できると思います。

(委員) 峰地区としては、中央中が目と鼻の先にあるわけで、入間川中では距離的に大変だという地元の声もありますから、その案はやめていただきたいと思っています。

それと、田中の地区も同じだと思うのですが、相続の関係で、峰地区だけでも、ここ1年で新しい戸建てが50棟くらいはできると思います。当然、若い世帯が入ることで子どもさんも増えることが予想されますので、そういったことも今後考慮すべきかと思います。

(委員) この学区の見直しは、いつ頃まで決めなければいけないというのはあるのですか。

(事務局) 耐震補強工事などの問題もありますので、平成27年度を目途に考えています。

(委員) あと3年、実質的には2年といったところでしょうか。そうなりますと、中学に現在通っている子どもの保護者にとっては、統廃合の時には卒業だから関係ないといった面もありますよね。皆さんの話を聞いていますと、何か個人的な話が多いようですが、もう少し大局的な観点から議論した方がいいのではないかという感じはしています。通学距離についても、片や何kmで片や何百mといった意見もありましたが、最後は、学校がある所を中心にコンパスで円を描いて学区を設定するような形にしなければ決まらないかもしれないですね。中央

中ができた時も同じような問題はありました。だから、距離が遠いとか近いとかを言い出すと、まず決まりませんから、どこかの段階で線引きする必要はあると思います。小学校から中学校に行く時にバラバラになるのはどうなのかという意見もありましたが、高校に行けば、みんな大体バラバラになりますよね。

耐震や空調の問題もありますが、学校を改修するというよりも、そういった環境がすでに整っている学校になるべく早く移ってもらう形の方がいいのかなとは思っています。

(委員) 私の地区では、東中に通っている生徒の保護者がどういう反応を示すかを見極めたいと思っています。

(委員) 検討協議会では、東中に通っている人達が狭山台中を希望すれば狭山台中に行けるとか、中央中を希望すれば中央中に行けるとかいった案は出ましたか。

(事務局) そういった案は出ていません。

(委員) 自分は男なので、通学距離なんかはどうでもいいと思っているのですが、お母さん方は、距離や友達などの問題を持ち出してくると思います。ですから、ある程度フレキシブルな臨機応変な学区の見直し案を提示した上でアンケートを取るといったやり方もあるのかなと…。この四つの案に固執せずに考えていくことも大事かなとは思っています。

(議長) 今後は、本日の資料を基に、それぞれのPTAや地域の皆さんから意見を聴いてきていただいたうえで、次回の会議に臨んでいただければと思いますので、よろしくお願いします。

(委員) 東中以外でも保護者説明会を開く予定はありますか。

(事務局) 事務局としては、この部会や検討協議会で、学区の案がある程度まとまった段階で、保護者の方々に説明に行きたいと考えておりました。ただ、どうしても現時点で説明会を開催してほしいということであれば、それはそれでまた考えたいと思います。

(委員) 今日提示された四つの案以外にも、まだ別の組み方はあるのですか。

(事務局) 検討協議会では、マルエツの前の道路で区切る案なども提示していますが、部会に提示する見直し案は、ある程度絞った形で出した方がよいとの意見がありましたので、今回はこのような形となりました。

(委員) 小学校区域で大体区切られているようですが、これをまた細かく区切って組み替えるなんてことはできないですね。

(事務局) 基本的には、小学校区域や自治会はなるべく分けないようにしたいという考えはあります。

(委員) 一つお願いですが、先日行われた東中の保護者説明会の内容はホームページに載せていただいています。ホームページをご覧にならない委員の方もいらっしゃるかと思いますので、次回の会議で、その時の内容をプリントで配っていただければと思います。東中の保護者の方々がこういうふうを考えているということを知っておいてもらいたいと思いますので…。

(事務局) はい、わかりました。

(3) その他

(事務局) 次回の会議の日程につきましては、6月末もしくは7月初め頃を予定しています。

6 閉 会

【配付資料】

- ◆ 狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針
- ◆ 入間川地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について
- ◆ 中学校通学区域一覧
- ◆ 小・中学校通学区域図
- ◆ 入間川地区連合会区分図
- ◆ 児童生徒数・学級数推計表
- ◆ 統廃合に伴う学区の見直し案（入間川地区）
- ◆ 対照表（入間川地区の学区見直し案）
- ◆ 入間川地区中学校統廃合検討協議会学区部会委員名簿